

抜本的見直しに向けた取組状況

(法人名)

(株) 湘南国際村協会

抜本的見直しに向けた取組状況

令和3年4月～	1 改訂第四次経営計画における取組の実施 計画の4年度目となる令和3年度(2021年度)は、令和2年度から引き続き、湘南国際村センターは神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、宿泊人数は、0人であった。
令和4年3月	<p>また、売上高634百万円、営業利益97百万円であるが、売上高は、神奈川県からの借上げ料及び委託料が枢要を占めた。</p> <p>今後、宿泊研修施設として、本来の営業を再開する際は、次に掲げる取組などにより事業の不断の見直しと改善を進めて、業績向上に全力で取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リピーターの利用継続に向けた、一顧客一担当制によるきめ細かい対応と定期的な営業活動の展開 ・ 神奈川県に関連団体や企業へ県とともに働き掛け、特に閑散期における新規顧客の利用を誘致 ・ ネットエージェントの活用や、新規問合せを成約につなげる積極的フォロー等による新規顧客の開拓 ・ 新利用料金の円滑な導入 ・ 国際会議や学会の誘致のため、大学、研究機関等をターゲットとして、県の助成制度と連携し、学会事務局業務の代行のアピールとともに営業活動を展開 ・ 効果的な広報の充実(企業・大学・学校等の顧客別のニーズに合わせたPRや、ホームページ等を活用した分かりやすい情報提供) <p>2 営業利益 売上高は634百万円、営業費用は537百万円となり、営業利益は97百万円となった。</p>

所管課の指導・調整内容等

県は、改訂第四次経営計画における取組が着実に実施されるよう、国際会議の誘致・定着への支援などを予定していたが、令和2年度から現在まで、湘南国際村センターは神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されている。

今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、県としても、改めて関係団体に研修等での利用を呼び掛けるなど、円滑な営業再開に向けて、協会と一丸となって取り組んでいく。

※ 必要に応じて資料を添付してください。

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和4年7月1日現在）

法人名	(株) 湘南国際村協会				
設立年月日	平成元年10月17日		代表者名	代表取締役社長 國重 正雄	
所在地	三浦郡葉山町上山口1560-39		電話番号	046-855-1811	
基本財産等	494,000,000	円	県出資額	1,020,000,000	円
				県出資率	40.8 %
			※ 評価額	201,552,000	円
				※ 評価額から算出	

2 法人運営における現状の課題

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ① 湘南国際村基本計画を踏まえた事業の展開 | ② 安定的な売上の確保 |
| ③ コスト管理の徹底 | ④ 計画的な修繕の実施 |
| ⑤ 事業再開後の利用促進に向けた準備 | |

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	3年度自己評価
1	宿泊人数	人	35,145 (33,300)	31,241 (33,600)	380 (33,400)	0 (34,200)	(34,500)	B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和3年度は、令和2年度から引き続き、湘南国際村センターが神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、宿泊人数は、0人となり目標を達成できなかったが、本来の事業を行えなかった状況を勘案した。 なお、神奈川県は、宿泊療養施設として、療養者を約898人、延べ人数にして約6,947人（療養者数に泊数を乗じた数の合計）を受け入れた。				令和4年度も引き続き、神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されているが、今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、引き続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	3年度自己評価
2	売上高	百万円	611 (597)	550 (602)	531 (632)	634 (642)	(645)	B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	令和3年度は、令和2年度から引き続き、湘南国際村センターが神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、売上高は、神奈川県からの借上げ料及び委託料が概要を占めたことを勘案した。				令和4年度も引き続き、神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されているが、今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、引き続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	3年度自己評価
	営業利益	百万円	84 (64)	58 (63)	72 (71)	97 (80)	(84)	B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
3	令和3年度は、令和2年度から引き続き、湘南国際村センターが神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されたため、売上高が、神奈川県からの借上げ料及び委託料が枢要を占めたことによる営業利益であることを勘案した。				令和4年度も引き続き、神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営されているが、今後、宿泊研修施設として本来の営業を再開する際は、引き続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

4 取組実績等についての総括（法人）

湘南国際村センターは、神奈川県から、新型コロナウイルス感染症に係る「宿泊療養施設」として借り上げた旨の協力要請を受け、令和2年4月9日から、軽症者等の受入れ施設として利用されることとなった。令和3年度についても引き続き借り上げたい旨の協力要請を受け、当社としても、「宿泊療養」実施の趣旨である医療現場の負担軽減に協力するため、取締役会の決議を経て、受入れの継続に同意した。このような状況により、売上高は、神奈川県からの借上げ料及び委託料が枢要を占め、634百万円となった。営業費用は、計画修繕工事を含めて、537百万円となり、この結果、営業利益は、改訂第四次経営計画の業績目標を超える97百万円となった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、通常営業を行うことはできなかったが、新型コロナウイルス感染症対策を進める神奈川モデルの一翼を担うことにより、神奈川県での医療提供体制の維持運営に貢献することができた。

5 取組実績等についての総括（所管課）

湘南国際村センターは、令和3年度も令和2年度から引き続き、神奈川県の新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設として運営され、通常営業を行うことはできなかったが、宿泊療養施設として、県民の医療提供体制の維持運営に貢献したこと、また、この間も、従来からのリピーター等に対して継続したフォローを丁寧に行い、次の利用に結び付ける努力を続けており、評価できる。

今後、宿泊研修施設としての本来の営業が円滑に再開できるよう、そうした取組を継続することを期待する。

6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	新型コロナウイルス感染症対策としての神奈川モデルの一翼を担ったことは、県民に対して非常に重要な役割を果たしており高く評価できる。今後、現在の取組を通じて、経営改善目標を達成されることを強く期待したい。
B	